

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	越、小林
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3781
事務事業名	11722 消防施設整備事業										
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署										
施 策	13021400 消防・救急体制の充実										
予 算	01 一般会計										
科 目	090103 消防費・消防費・消防施設費										
事 業	020000 消防施設整備事業										
事業目的						事業概要・効果					
消防施設の整備を行い、消防防災基盤を強化する						消防庁舎、消防施設等の整備 消防団機械器具置場、拠点施設の整備 耐震性貯水槽の整備 水防倉庫の整備					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
通信指令システム部分更新工事2/6 消防庁舎女性施設等改修工事	通信指令システム部分更新工事3/6 消防庁舎男性シャワールーム改修工事 消防団6分団2部機械器具置場建設工事（移転新築） 消防団8分団1部詰所・機械器具置場修繕工事
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
通信指令システム部分更新工事4/6	通信指令システム部分更新工事5/6 Net119緊急通報システム導入工事
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
通信指令システム部分更新工事6/6	

指標名	なし					
算式	-					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名						
算式	-					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式	-					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		12,284	38,248
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	17,012	5,597
一般財源		△4,728	32,651
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,484.0	3,484.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,484.0	3,484.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.8
総額		15,768.0	41,732.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,683	消防庁舎女性施設等設計業務委託891、消防団機械器具置場(6-2)設計業務委託495、消防庁舎男性シャワールーム設計業務委託297
14節 工事請負費	10,593	消防庁舎女性施設等改修工事9,493 通信指令システムの部分更新(2/6)1,100
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8	手数料

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	347	消防団部機械器具置場(6-2)監理業務委託料
14節 工事請負費	37,845	通信指令システムの部分更新(3/6)19,800、消防庁舎男性シャワールーム6,000、消防団機械器具置場(6-2)10,659、詰所等修繕(8-1)1,386
18節 負担金補助及び交付金	39	水道負担金
その他	17	手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	消防拠点施設を修繕し、また通信指令システムを部分更新することで、市民の生命、身体及び財産等を災害から守るため必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	消防防災基盤の強化に有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	消防施設の整備に関して、関係部局と連携している 町村から広域消防受託経費として財源確保する	

振り返り(決算年度の取組み課題)

消防施設の整備に関して関係部局と連携して推進する一方で、受託町村から経費分担や対象となり得る補助事業等の情報収集に努め、財源確保にも注力する

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
消防本部（団）施設を整備することで業務の効率化や利便性の向上を図る。今後も、消防職（団）員が安全に安心して業務が遂行できるように施設整備に努める。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
更新計画に基づく施設整備が図られ、消防職員・団員の負担軽減や効率化に繋がり向上した。引き続き更新計画に基づき継続して行う。今後、更新計画後の事業についても研究を開始していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	